

研究業績リスト

(2012年10月1日～2013年9月30日)

大学教育開発センター

[大学教育開発センター]

教授：ハワード・N・ターノフ, 森田 勲, 花渕 馨也
准教授：小澤 次郎, 薄井 明, 鎌田 禎子
講師：櫻井 潤

(1) 著書

- 1) 薄井 明：『国家試験対策 合格 社会福祉士 スタディ&チェック2014 共通科目編』, 株式会社みらい, 85-121, 2013, 7.
- 2) 小澤次郎：「天若日子」「枯野」, 歴史と文学の会編『古事記小事典 古代の真相を探る』, 勉誠出版, 240-245, 262-265, 2012, 10.
- 3) 小澤次郎：『『われらが隣人の犯罪』 - 記号化された《子供》の目線 -』, 現代女性作家読本研究会編『現代女性作家読本⑩ 宮部みゆき』, 鼎書房, 16-19, 2013, 04.
- 4) 小澤次郎：「札幌と石狩地方の作家と文学」「函館と渡島・檜山地方の作家と文学」「北海道の評論家・文学研究者」「文芸雑誌」「空知川の岸边」国木田独歩「木原直彦」「森一步」, 志村有弘編『北海道文学事典』, 勉誠出版, 049-056, 076-083, 137-144, 152-159, 184, 247, 376, 2013, 07.
- 5) 花渕馨也：「コモロ諸島」, 「コモロ連合」, 「グランドコモロ島」, 「ンズアニ島」, 「ムワリ島」, 「マオレ島」, 「モロニ市」, 「ムツァムドゥ市」, 「フォンボニ市」, 「ザウジ市」, 「マムヅ市」(事典項目), 加藤博・島田周平編, 『世界地名大事典 第3巻 中東・アフリカ』, 朝倉書店, 2012, 11.
- 6) 花渕馨也：「精霊と憑依の世界 - チュンバについて -」, 飯田卓・深澤秀夫・森山工編著, 『マダガスカルを知るための62章』, 明石書店, 214-217, 2013, 5.
- 7) Akihiko Yamaguchi, Kunihiro Sakuma and Isao Morita: Biological Action of Insulin-like Growth Factor-I(IGF-I) Isoforms and IGF Binding Proteins in Skeletal Muscle, Basic Biology and Current Understandings of Skeletal Muscle, 53-85, Aug. 2013.

(2) 論文

- 1) 小澤次郎：「金子みすゞ『琅玕集』におけるクリス

ティーナ・ロセッティー 'The Lowest Place' と竹友藻風訳「いと低きところ」 -」, 『北海道医療大学人間基礎科学論集』, 第38号, B1-7, 2012, 11.

- 2) 鎌田禎子：「アメリカン・ルネッサンスを考える - 『白鯨』への収まらない疑問」, 『北海道アメリカ文学』第29号, 56-61, 2013, 3.

(3) その他の論文

- 1) 薄井 明：「社会階級論の磁場の中のゴフマン社会学一彼の最初の公刊論文(1951)に関する一考察 -」, 『北海道医療大学看護福祉学部紀要』, 第19号, 1-16, 2012, 12.
- 2) 小澤次郎：「読むことと考えること - 『日本永代蔵』『古文真宝後集』『町人囊』 -」, 『北海道医療大学看護福祉学部紀要』, 第19号, 17-23, 2012, 12.
- 3) 櫻井 潤：「住民自治を基盤とする地域医療システムと自治体病院の再編：北海道釧路市の救急医療システムの改革と市立釧路総合病院の経営再建」, 財団法人全国勤労者福祉・共済振興協会2011年度公募委託調査研究報告書, 1-67, 2013, 1.

(4) 学会発表

- 1) 薄井 明：「E.ゴフマンはどのようにして相互行為秩序論を構築していったか」, 日本社会学会第84回大会, 2012, 11.
- 2) 薄井 明：「ゴフマン相互行為秩序論に対するジンメル社会学の実質的影響」, 日本社会学史学会第53回大会, 2013, 6.
- 3) 鎌田禎子：「アメリカン・ルネッサンスを考える - 『白鯨』への収まらない疑問」, シンポジウム「『アメリカ文学史』を読んで考えたこと」(講師), 日本アメリカ文学会北海道支部第22回大会, 2012, 12.
- 4) 櫻井 潤：「サンフランシスコ市/郡の医療保障における地域市場の規定性：アメリカの地元組織の主導性に基づく医療保障システムの実態解明に向けて」, 社会政策学会第126回大会, 2013, 5, 26.
- 5) 花渕馨也：「ンガジジャ島の年齢階梯制」, 日本島嶼学会2013年次高知・柏島大会, 2013, 9.

(5) 講演

- 1) 森田 勲：石狩市筋力アップ教室(1)～(12), 石狩市, 2012, 11～2013, 2.

- 2) 森田 勲：石狩市健康体力づくり講演会，2012，12，12.

(6) 社会活動

- 1) 小澤次郎：講演「日本語であそぼう」，第34回北海道医療大学オープンカレッジ，於：北海道医療大学体育館，2012，12，16.

臨床福祉学科

〈臨床福祉政策学〉

- 教授：鈴木 幸雄，石川 秀也，志渡 晃一，
志水 幸
准教授：佐々木明員
講師：佐藤 園美，奥田かおり
助教：川勾亜紀奈

〈医療福祉臨床学〉

- 教授：向谷地生良，白石 淳，北川 信樹
准教授：長谷川 聡，近藤 里美，大友 芳恵
講師：志水 朱，今野多美子，福間 麻紀，
卷康 弘
助教：高橋 由紀，池森 康裕

(1) 著書・訳書

- 1) 福祉小六法編集委員会編（志水 幸ほか）：福祉小六法2013年版。（株）みらい，2013年4月。
2) 保育福祉小六法編集委員会編（志水 幸ほか）：保育福祉小六法2013年版。（株）みらい，2013年4月。
3) 志水幸監修・社会福祉士国家試験対策研究会編集：社会福祉士スタディ&チェック2014共通科目編。（株）みらい，2013年7月。
4) 志水 幸監修・社会福祉士国家試験対策研究会編集：社会福祉士スタディ&チェック2014専門科目編。（株）みらい，2013年7月。

(2) 論文

- 1) 宮本雅央，山下匡将，伊藤優子，杉山克己，志水 幸，川廷宗之：社会福祉系学部における初年次教育カリキュラムの類型化の試み。日本社会福祉教育学会誌 第7号，2013年1月。85-98頁。
2) 伊藤優子，山下匡将，宮本雅央，小関久恵，杉山克己，志水 幸，川廷宗之：福祉系初年次学生の特徴-四年制大学と短期大学の比較から。日本社会福祉教育学会誌 第7号，2013年1月。99-107頁。
3) 山下匡将，宮本雅央，小関久恵，杉山克己，志水

幸，川廷宗之：社会福祉専門職養成教育における初年次教育の課題-社会福祉士養成4年制大学に所属する初年次女子学生の実態から。日本社会福祉教育学会誌 第7号，2013年1月。109-122頁。

- 4) 小関久恵，伊藤優子，山下匡将，宮本雅央，杉山克己，志水 幸，川廷宗之：初年次教育再考-学びの共同体の構築を目指して。日本社会福祉教育学会誌 第7号，2013年1月。123-133頁。
5) 北川信樹：成人期注意欠如・多動性障害（AD/HD）に対する薬物療法のエビデンスと臨床的諸問題-Atomoxetineを中心に-。臨床精神薬理15：1831-1840，2012
6) Tha KK, Terae S, Nakagawa S, Inoue T, Kitagawa N, Kako Y, Nakato T, Popy KA, Fujima N, Zaitu Y, Yoshida D, Ito YM, Miyamoto T, Koyama T, Shirato H: Impaired integrity of the brain parenchyma in non-geriatric patients with major depressive disorder revealed by diffusion tensor imaging. Psychiatry Research: Neuroimaging 212(3): 208-215, 2013
7) Mitsui N, Asakura S, Inoue T, Shimizu Y, Fujii Y, Kako Y, Tanaka T, Kitagawa N, Kusumi I: Temperament and character profiles of Japanese university student suicide completers. Comprehensive Psychiatry(5): 555-561, 2013
8) 北川信樹：認知行動療法は双極性障害に有用か？ Depression Frontier 11(1): 39-45, 2013
9) Fujii Y, Kitagawa N, Shimizu Y, Mitsui N, Toyomaki A, Hashimoto N, Kako Y, Tanaka T, Asakura S, Koyama T, Kusumi I: Severity of generalized social anxiety disorder correlates with impairment of executive functioning. Neuroscience letters 543: 42-46, 2013
(3) その他の論文
1) 志水 幸：保健医療福祉系大学における教養教育の問題（3）-コア・カリキュラムにおける人文社会系教養の意義を考える。大学教育学会誌第34巻第2号。97-100頁。2012年11月。
2) 志水 幸：Words Create Worlds-何が定義を必要とするのか？日本ソーシャルワーク学会ニューズレターNo.101。5頁。2012年12月。
3) 志水 幸：巻頭言 教養の専門教育的意義。日本社会福祉教育学会ニューズレター第16号。1-2頁。2013年1月。
4) 志水 幸：ソーシャルワークの本質とコア・カリキュラムの意義。日本ソーシャルワーク学会ニューズレターNo.103。9-10頁。2013年9月。

(4) 学会発表

- 1) 志水 幸：社会福祉専門教育におけるルーブリック評価活用の実例. 日本社会福祉教育学会第3回春季研究集会 第Ⅱ部実践報告. コーディネーター. 2013年2月. 東京(大妻女子大学).
- 2) 小野滋男, 志水 幸, 堀井泰明, 遠藤良仁, 宮本雅央：保健医療福祉系大学における教養教育の問題(4) -多ルート問題と大学の独立性について考える. 大学教育学会第35回大会. 2013年5月. 仙台(東北大学)
- 3) 山下匡将, 伊藤優子, 杉山克己, 志水 幸, 武田加代子：「レジデンシャル・ソーシャルワーク・インディケーター」開発の試み. 日本ソーシャルワーク学会第30回大会. 2013年6月. 仙台(仙台白百合女子大学)
- 4) 志水 幸：社会福祉専門職養成教育における社会福祉哲学の現状と課題-日本社会福祉教育学校連盟加盟校の教育課程分析を中心に. 秋山智久企画：特定課題セッションⅠ「社会福祉哲学の意義・枠組み：内容」. 日本社会福祉学会第61回秋季大会. 2013年9月. 札幌(北星学園大学)
- 5) 北川信樹, 賀古勇輝, 藤井 泰, 三井信幸, 清水祐輔：北大精神科における摂食障害高年齢入院患者の臨床的検討. (シンポジウム「遷延化と高齢化」). 第16回日本摂食障害学会. 東京(政策研究大学院). 2012. 10. 6
- 6) 北川信樹：双極性障害の認知行動療法(自主企画シンポジウム「双極性障害に対する心理社会的治療の現在」). 第11回日本認知療法学会. 2東京(東京ビッグサイト). 2012. 11. 23-25.
- 7) 北川信樹：地域のうつ病予防に向けた集団認知行動療法の実際(ワークショップ). 第28回日本ストレス学会研修会. 札幌(アスティ45). 2012. 12. 2
- 8) 北川信樹：双極性障害に対する認知行動療法とリワークへの援用(企画シンポジウム「双極性障害への支援」). 日本うつ病リワーク研究会第6回年次大会. 東京(NTT東日本関東病院). 2013. 4. 27
- 9) 北川信樹, 清水祐輔, 久住一郎：「実地臨床における認知行動療法の発展的応用ならびに認知神経科学との架橋」(メインシンポジウム「今後のうつ病診療はいかにあるべきか」). 第109回日本精神神経学会. 福岡(福岡国際会議場). 2013. 5. 24
- 10) 北川信樹：双極性障害の認知行動療法(ワークショップ). 第4回アジア認知行動療法会議学術総会. 第13回日本認知療法学会. 日本行動療法学会第39回大会合同大会. 東京(帝京平成大学). 2013. 8. 23
- 11) 北川信樹ほか. 集団認知行動療法研究会：うつと不安の集団認知行動療法(ワークショップ). 第4回アジア認知行動療法会議学術総会. 第13回日本認知療法学会. 日本行動療法学会第39回大会合同大会. 東京(帝京平成大学). 2013. 8. 23
- 12) 北川信樹：双極性障害の認知行動療法(シンポジウム：「双極性障害への対応を考える」). 集団認知行動療法研究会第4回総会・中級研修会. 東京(NTT東日本関東病院). 2013. 9. 8

(5) 講演

- 1) 志水 幸：(社)日本社会福祉教育学校連盟2012年度第1回臨時総会. 議事録署名. 2012年11月10日. 仙台(東北福祉大学).
- 2) 志水 幸：日本ソーシャルワーク学会第30回大会. 座長. 2013年6月. 仙台(仙台白百合女子大学)
- 3) 志水 幸：第65回北海道社会福祉主事資格認定講習会(「社会福祉行政論」担当). 北海道社会福祉協議会. 2013年5月~7月. 札幌(かでの27)
- 4) 志水 幸：日本社会福祉教育学会第9回大会. 第1分散会「現代社会と福祉」. コーディネーター. 2013年8月31日~9月1日. 東京(大妻女子大学)
- 5) 志水 幸：北海道医療大学看護福祉学学会第10回学術大会. 大会長. 2013年9月6日. 札幌(北海道医療大学 札幌サテライトキャンパス)
- 6) 佐々木明員：基調報告「知的障害者の意思決定支援」北海道知的障害者施設関係者研究団体キレンジャクの会研修会. 2013. 2. 23. 岩見沢サンブラザーホテル
- 7) 佐々木明員：シンポジウム「発達障害者のひきこもりに関する実態と支援の課題」北海道医療大学平成23年度生涯学習事業発達障害セミナー. 2013. 2. 2. 北海道医療大学サテライトキャンパス
- 8) 佐々木明員：「障害のある触法少年の教育」2013. 1. 11. 北海道美深高等養護学校. 美深町
- 9) 佐々木明員：「触法知的障害者の福祉的支援の実態と課題」札幌市知的障がい福祉協会「触法知的障害者への支援セミナー」2012. 11. 18. 北海道医療大学札幌サテライトキャンパス
- 10) 佐々木明員：「厚労科学研究事業被疑者及び罪を犯した高齢者・障害者の支援に関する研究(田島班小林グループ研究報告会)」2012. 2. 11. 北海道医療大学札幌サテライトキャンパス
- 11) 奥田かおり：シングルマザーのストレス軽減のために「前向き子育てプログラム」を活用したストレス軽減による児童虐待・ネグレクト防止及び自立促進へのアプローチ. 第56回 全国母子生活支援施設研

- 究大会, 2012. 10. 4-5. 広島県広島市「広島市文化交流会館」
- 12) 奥田かおり: ペアレンティング・ジャーニー(グループワーク ファシリテーター) 2012. 11~2013. 10 札幌なかまの杜クリニック
- 13) 奥田かおり: 障害者の就労支援 SSTでコミュニケーショントレーニング, 2013. 1月~3月 札幌チャレンジド
- 14) 奥田かおり: 効果的なスーパービジョン-プロセスレコードを使って-北海道医療ソーシャルワーカー協会 2012年度 医療ソーシャルワーカー実習スーパービジョン研修会 2013. 2. 23, 札幌徳州会病院
- 15) 奥田かおり: プロセスレコードを使ったスーパービジョンの進め方, 実習スーパービジョン研究会: 実習指導者対象2013. 5. 11. 北海道クリスチャンセンター
- 16) 奥田かおり: 実習日誌を使ったスーパービジョン 北海道医療ソーシャルワーカー協会 2013年度 医療ソーシャルワーカースーパーバイザー研修 2013. 7. 6, 札幌徳州会病院
- 17) 奥田かおり: 北海道医療大学における実習・演習の取り組み プロセスレコードを使った授業展開, 北海道精神保健福祉士養成校協会研修会 2013. 9. 7. 日 北星学園大学
- 18) 北川信樹: 「双極性障害の認知行動療法と心理教育」, 札幌認知行動療法セミナー, 札幌(東急ホテル), 2012. 10. 13,
- 19) 北川信樹: 「成人期ADHDの治療の実際」, ストラテラweb講演会, 札幌(全日空ホテル), 2012. 10. 23
- 20) 北川信樹: 「うつ病のリカバリーとは何だろうか? -CBT, リワーク, 神経認知-」, 第3回EBP懇話会, 弘前, 2012. 11. 17
- 21) 北川信樹: 「認知行動療法で臨床がラクになる! ~基本的発想と介入の原則~」, 北大精神科教室行事, 札幌(北海道大学), 2013. 4. 10
- 22) 北川信樹: 「認知行動療法に学ぶコミュニケーションスキルのコツ」, 道南精神医療講演会, 八雲(町立八雲総合病院), 2013. 6. 8
- 23) 北川信樹: 「認知行動療法で臨床がラクになる! ~普段使える技法の実際~」, 北大精神科教室行事, 札幌(北海道大学), 2013. 9. 25
- 24) 北川信樹: 「認知行動療法に学ぶコミュニケーションスキルの基礎」, 林下病院認知行動療法研修会, 札幌(林下病院), 2013. 9. 28
- 25) 近藤里美「私たちの中のミュージカリティを活用しよう」リハビリテーションケア合同研究大会 札幌コンベンションセンター 2012. 10. 13 札幌.
- 26) 近藤里美「ホスピス緩和ケアと音楽療法」日本音楽療法学会熊本支部学術大会 熊本市民会館崇城大学ホール, 2013. 5. 19 熊本.
- 27) 近藤里美「エピソード記述研究とホスピス緩和ケア」日本音楽療法学会 第13回学術大会 米子市文化ホール, 2013. 9. 6 米子.
- 28) 近藤里美: 「音楽療法って何だろう?」札幌市豊平区創造学園 2012. 11. 17 札幌.
- 29) 近藤里美「ケアする人のケアと音楽療法」熊本音楽療法研究会研修 2012. 5. 18 熊本.
- 30) 今野多美子: 「ピンチをチャンスに変える底力」, 市立小樽病院看護師長研修, 2012. 10. 25.
- 31) 今野多美子: 「看護管理者の役割 経験を通して」, 函館新都市病院看護師長研修, 2013. 5. 2.
- (6) 社会的活動
- 1) 志水 幸: 日本社会福祉教育学会 研究担当理事. ~現在に至る.
- 2) 志水 幸: 大学教育学会学会誌編集委員会 委員. ~2013年6月. (2013年2月査読2件)
- 3) 志水 幸: 日本社会福祉教育学会誌査読. (2012年12月, 機関誌「日本社会福祉教育学会誌第8号」投稿論文査読1件)
- 4) 志水 幸: 日本社会福祉学会臨時査読委員. (2013年5月, 機関誌「社会福祉学」54巻第2号投稿論文1件)
- 5) 佐々木明員: 北海道乳児療育研究会 理事・研修部長・研究誌「北海道乳幼児療育研究」編集員
- 6) 佐々木明員: 「厚労科学研究事業被疑者及び罪を犯した高齢者・障害者の支援に関する研究(田島班小林グループ)」研究協力者
- 7) 佐々木明員: 北海道更生保護委員会更生保護就労審査評価委員会 評価委員
- 8) 佐々木明員: 北海道知的障害者福祉施設関係者研究団体「キレンジャクの会」会長
- 9) 佐々木明員: NPO法人当別町青少年活動センター ゆうゆう24 理事
- 10) 北川信樹: 特定非営利活動法人 北海道認知行動療法センター理事長 (2013年9月設立)
- 11) 北川信樹: 日本認知療法学会 幹事
- 12) 北川信樹: 日本精神病理学会 評議員
- 13) 北川信樹: 集団認知行動療法研究会 世話人
- 14) 北川信樹: 集団認知行動療法研究会第4回総会・中級研修会 プログラム実行委員長

- 15) 北川信樹：第4回アジア認知行動療法会議学術総会，第13回日本認知療法学会，日本行動療法学会第39回大会合同大会 プログラム委員
- 16) 北川信樹：第13回外来精神医療学会 プログラム委員
- 17) 北川信樹：心神喪失者等医療観察法精神保健判定医（審判および鑑定医としての嘱託業務）
- 18) 今野多美子：小規模自治体病院等看護職員派遣検討会委員，北海道
- 19) 今野多美子：北海道臨床倫理検討会幹事
- 20) 今野多美子：特定非営利活動法人「ノーマライゼーションセンターによきによき」理事
- 21) 今野多美子：平成24年度友愛学会（症例研究発表会）審査員，北海道友愛福祉会

看護学

生命基礎科学講座

教授：小林 正伸，佐々木重幸，西 基

(1) 著書

- 1) 小林正伸：がんと向き合う－道民のための基礎知識，北海道新聞社，2012，10.

(2) 論文

- 1) Kubo, Y., Yanagawa, Y., Matsumoto, M., Hiraide, S., Kobayashi, M., Togashi, H.: Toll-like receptor 7-mediated enhancement of contextual fear memory in mice. *Pharmacol Biochem Behav.*102: 495-501, 2012.
- 2) 久保田卓，松井欣哉，若狭 哲，須藤幸雄，佐々木重幸，吉永恵一郎，松居喜郎：左室形成術は局所的な左室壁基部の収縮機能を改善する－QGSの左室壁thickeningによる検討，北海道医学雑誌 *Acta medica Hokkaidonensia* 87: 191, 2012.
- 3) Yamauchi, H., Satoh, H., Yamashita, T., Shinshi, Y., Kikuchi, K., Sasaki, S., Matsui, Y.: Immunoglobulin G 4-related disease of the heart causing aortic regurgitation and heart block, *Ann Thorac Surg.* 95: e151-3, 2013.
- 4) Hiroyuki Yamada, Masao Hosokawa, Kazuo Itoh, Toshinao Takenouchi, Yoshihiro Kinoshita, Tomohiro Kikkawa, Keita Sakashita, Shion Uemura, Yasunori Nishida, Takaya Kusumi, Shigeyuki Sasaki : Diagnostic value of 18F-FDG PET/CT for lymph node metastasis of esophageal squamous cell carcinoma. *Surg Today* (in press).

- 5) 西 基：わが国における住宅用火災警報器の普及と火災による死亡率，*近代消防*，50（12），88-90，2012.
 - 6) 西 基，花井潤師，三嘴 雄：わが国における出生コホート別の神経芽腫死亡率，*日マススク誌*，22，228-232，2012.
 - 7) 西 基：住宅用火災警報器の普及と「熟眠」などによる火災死亡の推移，*近代消防*，51（2），40-42，2013.
 - 8) Satgé, D., Stiller, C.A., Rutkowski, S., Bueren, A.O., LAcour, B., Sommelet, D., Nishi, M.: A very rare cancer in Down syndrome: medulloblastoma. *Epidemiological data from 13 countries. J Neuro-Oncol.*112: 10-114, 2013.
 - 9) 上原尚紘，志渡晃一，西 基，三宅浩次：労働者のワーク・ライフ・バランスとその関連要因，*北海道公衆衛生学雑誌*，26，81-88，2012.
 - 10) 西 基：札幌市における自殺の疫学，*北海道医療大学看護福祉学部学会雑誌*，9，11-16，2013.
 - 11) 西 基：2011年の放火・自殺発生状況と東日本大震災との関係の検討，*近代消防*，51（9），81-83，2013.
 - 12) 西 基，三宅浩次：健康保険組合の資料より推定したメンタル不調従業員に関わる企業の経済的負担，*北方産業衛生*，49，9-12，2013.
 - 13) 三宅浩次，西 基，志渡晃一，上原尚紘，小林幸太：非正規労働者のメンタルヘルス，正規労働者と比較して－北海道・東北産業保健推進センター協同調査研究（NOCS-MH）データベースの分析から－，49，13-21，2013.
- #### (3) その他の論文
- 1) 斎藤翔太，太田 優，吉永美和，花井潤師，高橋広夫，佐々木泰子，長 祐子，西 基：札幌市における神経芽細胞腫スクリーニング結果（2010～2011年度），*札幌市衛生研究所年報*，39，77-78，2012.
 - 2) 小林正伸：「原因についてどこまで明らかになったのか」，*The GI FOREFRONT, Medical Re-view*，12-15，2013.
 - 3) 小林正伸：五感をフルに活用した循環器・呼吸器フィジカルアセスメント，*呼吸器・循環器達人ナース*，日総研，39-45，2013.
- #### (4) 学会発表
- 1) Akihito Watanabe, Masanobu Taniguchi, Masao Hosokawa, Shigeyuki Sasaki : Head and Neck cancer associated with esophageal cancer-early detection and

minimally invasive treatment. 20th World Congress of the International Federation of Oto-Rhino-Laryngological Societies 2013.06 at the COEX Convention and Exhibition Center in Seoul, Republic of Korea.

- 2) 西 基, 花井潤師, 佐々木泰子: わが国における5-9歳の「副腎の悪性新生物」死亡率の推移, 第39回日本マス・スクリーニング学会, 東京都千代田区, 2012, 8.
- 3) 西 基, 谷村雅子: 排卵誘発剤と神経芽腫発生の関連性, 第54回日本小児血液・がん学会, 横浜市, 2012, 11.
- 4) Satgé, D., Piguet, C., Rickert, C., Nishi, M.: An international germ cell tumor in a boy with Down syndrome, and 24 other cases in the literature. 11th World Down Syndrome Congress Capetown, South Africa. Aug 15, 2012.

実践基礎看護学講座

教授: 平 典子, 花岡眞佐子

准教授: 杉田 久子

講師: 明野 伸次

助教: 福井 純子, 齊藤 美沙, 新井紗樹子

(2) 論文

- 1) 福井純子: 看護師のキャリア選択に影響を及ぼす要因～経験を積んだ看護師の振り返りの語りから～, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 9 (1), 2013.
- 2) 齊藤美沙: 臨地実習指導者の役割に関する研究の動向, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 9 (1), 2013.
- 3) 新井紗樹子: 臨地実習指導者の認識する看護実践のロールモデル行動の実態. 北海道医療大学看護福祉学研究科修士論文, 2013.

(3) その他の論文

- 1) 花岡眞佐子: 排泄ケア専門員, 泌尿器ケア, vol18, no3, 70-72, 2013.
- 2) 明野伸次, 立崎恵美子: 排尿ケアにおける教育支援プログラムの検討-排尿チャート研修受講後の実践状況からみた評価-, 日本老年泌尿器科学会誌, 25, 120, 2012.

(4) 学会発表

- 1) 平 典子, 唐津ふさ, 田中いずみ, 鳴井ひろみ: 外

来治療を受けるがん患者の家族ケアギバーとしての手段. がん看護学会, 金沢, 2013, 2.

- 2) 田中いずみ, 平 典子, 唐津ふさ, 鳴井ひろみ: 外来治療を受けるがん患者と暮らす家族ケアギバーの思い, 日本看護研究学会, 秋田, 2013, 8.
- 3) Norkiko Hira, FUsa Karatu, Izumi Tanaka, Hiromi Narui: Family support for outpatients undergoing Cancer Treatment, Supportive Care in Cancer, International MASCC/ISOO Symposium, Berlin, 2013 June.
- 4) 杉田久子, 唐津ふさ, 西村歌織: 臨床看護実践における新人看護師が語る知の様相, 日本看護研究学会, 秋田, 2013, 8.
- 5) 唐津ふさ, 杉田久子, 西村歌織: ドレーン・チューブ固定のための看護ケアアルゴリズムの開発-看護師のアセスメントの視点に焦点をあてて-, 日本看護研究学会, 秋田, 2013, 8.
- 6) 明野伸次: 日常的な看護行為に伴う手の接触が対象者にもたらす意義-国内外の文献検討から-, 日本看護技術学会第12回学術集会, 浜松, 2013, 9.
- 7) 新井紗樹子: 臨地実習指導者の学生に対するロールモデルとしての示し方, 北海道医療大学看護福祉学部学会第10回学術大会, 札幌, 2013, 9.

(5) 講演

- 1) 平 典子: 「事例を研究的視点でまとめるとは」, 北海道大学病院看護部3年目研修, 札幌, 2013, 7.
- 2) 花岡眞佐子: 「北海道医療大学看護福祉学部の教育方針-臨地実習に期待すること-」北海道大学病院看護部臨地実習担当者研修, 札幌, 2013, 4.
- 3) 花岡眞佐子: 「看護職における新人教育の展望-実践と看護基礎教育のつながりを求めて-」日本看護研究学会第23回北海道地方会学術集会, 札幌, 2013, 6.
- 4) 杉田 久子: 「クリティカルケアの場におけるチーム医療とは」, 第9回日本クリティカルケア看護学会パネルディスカッション, 神戸, 2013, 6.

(6) 社会的活動

- 1) 平 典子: 日本看護研究学会 評議員
- 2) 平 典子: 日本看護研究学会 査読員
- 3) 平 典子: 日本看護科学学会 評議員
- 4) 平 典子: 日本がん看護学会 評議員
- 5) 平 典子: 日本がん看護学会 査読員
- 6) 平 典子: 日本がん看護学会国際活動委員
- 7) 平 典子: アジアがん看護協会 scientific committee member
- 8) 花岡眞佐子: 日本看護学教育学会 評議員

- 9) 花岡眞佐子：日本看護学教育学会 専任査読委員
- 10) 花岡眞佐子：日本看護学教育学会 研究助成選考委員
- 11) 花岡眞佐子：NPO法人日本コンチネンス協会 副会長
- 12) 花岡眞佐子：NPO法人日本コンチネンス協会 教育部排泄ケア専門員認定委員
- 13) 杉田久子：北海道勤労者医療協会勤医協中央病院研究指導，札幌，2012-2013.
- 14) 杉田久子：看護職復職支援講習会講師，さっぽろ雇用創造協議会，札幌，2012.
- 15) 杉田久子：医療法人社団北海道恵愛会札幌南一条病院研究指導，札幌，2012.
- 16) 杉田久子：日本クリティカルケア看護学会 広報委員
- 17) 明野伸次：秀友会病院看護研究発表講評，札幌，2012. 11.
- 18) 明野伸次：日本脳神経看護研究学会北海道地方部会研究発表 座長，札幌，2013， 5.
- 19) 明野伸次：北海道医療大学看護福祉学部学会 理事
- 20) 明野伸次：北海道医療大学看護学科同窓会 副会長
- 21) 福井純子：北海道臨床倫理研究会 幹事
- 22) 福井純子：看護管理者石垣ゼミ公開セミナー 座長，札幌，2012， 11.
- 23) 福井純子：第17回日本看護管理学会学術集会 一般演題査読委員，2013， 5.
- 24) 福井純子：第17回日本看護管理学会学術集会 一般演題座長，東京，2013， 8.

地域保健看護学講座

(老年看護学)

教授：山田 律子
 准教授：萩野 悦子
 講師：内ヶ島伸也
 助教：長瀬 亜岐

(地域在宅看護学)

准教授：工藤 禎子，桑原 ゆみ，竹生 礼子
 助教：明野 聖子，川添恵理子

(精神看護学)

准教授：八木こずえ
 講師：笹木 弘美
 助教：中村由香里

(老年看護学)

(1) 著書

- 1) 山田律子：新版 認知症の人々の看護 第2版，医歯薬出版，2013， 3.
- 2) 山田律子：認知症の人の食事支援BOOK－食べる力を発揮できる環境づくり，中央法規，2013， 5.
- 3) 山田律子：最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版，医歯薬出版，2013， 9.
- 4) 萩野悦子：老年期の生活機能マネジメント1「生活リズム」，老年期に特有の疾病・症候と回復に向けた看護支援2「脳神経・認知機能」，井出訓（編著）：放送大学教材 新訂老年看護学，一般財団法人放送大学教育振興会，84-95，186-208，2013， 6.

(3) その他の論文

- 1) 山田律子：『認知症の原因疾患別にみた摂食・嚥下障害の特徴と食事支援（Science歯科医療と脳 vol.8）』，道歯会通信，751， 4-5， 2012.
- 2) 山田律子：認知症の方への食の支援を考えよう－安全においしく食べていただくための支援とは，デンタルハイジーン，33（2），191-193，2013.
- 3) 畑中哲生，金子 洋，長瀬亜岐，丸川征四郎：AED適正配置の実態把握と理論的評価法に関する研究，平成24年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合事業 循環器疾患等の救命率向上に資する効果的な救急蘇生法の普及啓発に関する研究（H24-心筋-一般-001）（研究代表者 坂本哲也）.

(4) 学会発表

- 1) 山田律子，萩野悦子，大久保抄織，他：認知症終末期の高齢者が最後までおいしく口から食べるためのグループホームでの支援－（その1）身体兆候の特徴と食事支援－，第14回日本認知症ケア学会大会，福岡，2013， 6.
- 2) 野村まゆみ，武田純子，山田律子，萩野悦子，他：認知症終末期の人が最期まえおいしく口から食べるためのグループホームでの支援－（その2）食事回数が減ってもおいしい物を食べ，最期まで豊かに暮らす－，第14回日本認知症ケア学会大会，福岡，2013， 6.
- 3) 枝広あや子，平野浩彦，山田律子，他：認知症高齢者の自立摂食を支援するための介入プログラムの効果検証，一般社団法人日本老年歯科医学会第24回学術大会，大阪，2013， 6.
- 4) 早坂史子，山田律子，萩野悦子：介護老人保健施設における下剤内服者の排便状態の特徴と日常生活へ

- の影響, 日本看護研究学会第39回学術集会, 秋田, 2013, 8.
- 5) 田中裕子, 山田律子, 萩野悦子: 介護老人保健施設入所者の口腔セルフケア, 第10回北海道医療大学看護福祉学部学会学術大会, 札幌, 2013, 9.
 - 6) 内ヶ島伸也, 板澤有幾, 板澤 寛, 横山晃子, 蒲原 龍: 認知症高齢者の意思決定能力の特徴と評価方法の検討-提示する情報と質問の量による影響-, 第14回日本認知症ケア学会大会, 福岡, 2013, 6.
 - 7) 山田秀則, 北川喜己, 市川敦子, 長瀬亜岐: 精神科病院入院中に身体合併症で救急搬送された患者の特徴, 第16回日本臨床救急医学会学術集会, 東京, 2013, 7.
 - 8) 市川敦子, 北川喜己, 山田秀則, 長瀬亜岐: 精神科病院看護師にむけた急変予防教育プログラムの検討, 第16回日本臨床救急医学会, 東京, 2013, 7.
- (5) 講 演
- 1) 山田律子: 特定非営利活動法人日本咀嚼学会 第23回学術集会 シンポジウム「認知症高齢者の食事支援を通して考える咀嚼機能の重要性」, 札幌, 2012, 10.
 - 2) 山田律子: 公益社団法人日本認知症グループホーム協会北海道支部研修会「認知症の人の食べる喜びに向けて-認知症初期から終末期までの食事支援」, 札幌, 2012, 10.
 - 3) 山田律子: 第8回長野摂食・嚥下リハビリテーション研究会「最期まで認知症の人が安全かつ美味しく食べるための支援」, 長野県, 2012, 11.
 - 4) 山田律子: 平成24年度 全国福祉栄養士研修会「認知症の人と食べ物や食べ方を探る-実践事例を通して-」, 東京, 2012, 12.
 - 5) 山田律子: 平成24年度 第2回認知症の人の食支援研究会「食べていただくためにどうする?-認知症の人が最期まで美味しく食べるための支援-」, 横浜, 2012, 12.
 - 6) 山田律子: 第5回 口腔先端応用医科学研究会 シンポジウム「日本の歯科: 国民の意識は? 国民への貢献とは?」「認知症高齢者の食事支援を通して考える歯科医療の重要性」, 東京, 2013, 1.
 - 7) 山田律子: 日本医学哲学・倫理学会主催公開講座, 東京大学大学院 死生学・応用倫理センター上廣講座後援「認知症の人が最期まで美味しく食べるための支援」, 東京大学(東京都), 2013, 2.
 - 8) 山田律子: 社会福祉法人友愛福祉会 介護職員種別研修会「認知症の原因疾患別にみた摂食・嚥下障害の特徴とケア」, 江別, 2013, 2.
 - 9) 山田律子: 平成24年度地域人材確保対策支援事業 第4回合同研修「認知症の人への食事ケア-脳機能を踏まえた環境づくり」, 苫小牧, 2013, 2.
 - 10) 山田律子: 平成24年度東翔会職員全体研修会・公開講座 尊厳を守り, ケア力を高めるセミナーⅡ「人生の最期まで尊厳を支えるケア-食べる喜び, 生きる喜び-」, 大牟田, 2013, 3.
 - 11) 山田律子: 平成24年度室蘭歯科医師会主催参集型口腔ケア研修会「実践に役立つ! 認知症の人への食事支援」, 室蘭, 2013, 3.
 - 12) 山田律子: グループホームアウル「認知症の人の豊かな食事支援」, 伊達, 2013, 8.
 - 13) 山田律子: ナーシングホーム気の里 特別講演 「認知症高齢者のケアとしての食事-食べたいと思えるアプローチ」, 豊橋, 2013, 8.
 - 14) 山田律子: 島根県立大学出雲キャンパス講演 「目標志向型思考の看護過程」, 出雲, 2013, 8.
 - 15) 山田律子: 日本認知症グループホーム協会 北海道支部研修会「明日からの実践に役立つ! 認知症の人への食事支援」, 札幌, 2013, 9.
 - 16) 山田律子: 福岡県高齢者グループホーム協議会主催 「認知症の人の食べる力を引き出し, 豊かな暮らしを支援しよう~より良く食べ, より良く生きるために~」, 小倉, 2013, 9.
 - 17) 山田律子: もの忘れフォーラムinながぬま2013「認知症の人が輝きを取り戻すとき」, 長沼, 2013, 9.
- (6) 社会的活動
- 1) 山田律子: 一般社団法人日本看護研究学会 理事(会計担当)・査読委員
 - 2) 山田律子: 一般社団法人日本認知症ケア学会 理事・編集委員・査読委員・学術集会時の査読・座長, 事例検討座長, 認知症ケア専門士認定試験委員
 - 3) 山田律子: 日本老年看護学会 評議員・理事(会計担当)・査読委員・教育研究推進委員
 - 4) 山田律子: 公益社団法人日本看護科学学会 評議員(社員)
 - 5) 山田律子: 一般社団法人日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 評議員・査読委員・論文表彰選考委員
 - 6) 山田律子: 特定非営利活動法人日本咀嚼学会 評議員
 - 7) 山田律子: 一般社団法人日本老年歯科医学会 査読委員
 - 8) 山田律子: 専門看護師教育課程認定委員会(老人看護専門分科会)委員
 - 9) 山田律子: 日本看護協会看護研修学校 認知症看護認定看護師教育課程 講師, 東京, 2013, 7.

- 10) 山田律子：兵庫県看護協会 資格認定教育部 認定看護師教育課程 認知症看護コース 講師，神戸，2013，9.
 - 11) 山田律子：医療法人札幌円山病院 院内認定教育プログラム「認知症高齢者の食事支援」講師2013，8，および研究支援2012-2013.
 - 12) 山田律子：北海道医療大学看護福祉学部学会 学術集会時のシンポジウム座長2013，9.
 - 13) 萩野悦子：札幌市豊平区創造学園（高齢者大学）講師，札幌，2012，11.
 - 14) 萩野悦子：北海道看護教員養成講習会講師 研究方法3回，札幌，2013，6.
 - 15) 萩野悦子：日本看護協会看護研修学校 認知症看護認定看護師教育課程 講師，東京，2013，6-7.
 - 16) 萩野悦子：日本認知症ケア学会 代議員
 - 17) 萩野悦子：日本認知症ケア学会誌 査読委員
 - 18) 萩野悦子：日本認知症ケア学会 認知症ケア専門士認定委員会委員
 - 19) 萩野悦子：日本認知症ケア学会 認知症ケア上級専門士認定委員会委員
 - 20) 萩野悦子：日本認知症ケア学会 将来構想・あり方委員会委員
 - 21) 萩野悦子：日本認知症ケア学会 事例ジャーナル査読委員
 - 22) 萩野悦子：日本老年看護学会生涯学習支援委員会委員
 - 23) 萩野悦子：日本老年看護学会 査読者
 - 24) 萩野悦子：江別市立病院院内研究指導
 - 25) 内ヶ島伸也：NPO法人認知症フレンドシップクラブ 理事
 - 26) 内ヶ島伸也：北海道医療大学看護福祉学部学会 編集委員
 - 27) 内ヶ島伸也：北海道医療大学看護学科同窓会 副会長
 - 28) 内ヶ島伸也：北海道臨床倫理研究会 幹事
 - 29) 内ヶ島伸也：医療法人札幌西円山病院看護研究支援，札幌，2012-2013.
 - 30) 内ヶ島伸也：平成25年度滝川市立病院看護部「看護研究研修」講師，滝川，2013，8.
 - 31) 内ヶ島伸也：札幌市月寒公民館創造学園「認知症を知ろう・考えよう」講師，札幌，2013，9.
- ミナルケアの課題と展望（単著），第Ⅳ部6章在宅がん療養者/ターミナル期にある在宅療養者（共著），第Ⅴ部3章（共著）在宅における栄養管理，第Ⅴ部4章在宅における排泄のケア（共著），第Ⅴ部5章在宅における清潔のケア（共著），第Ⅴ部7章在宅における薬物療法（共著），スーディ神崎和代（編）：在宅看護学講座，ナカニシヤ出版，25-28，53-55，119-122，129-130，169-179，209-225，227-235，237-241，2012，11.
- 2) 川添恵理子：第Ⅱ部5章（共著），スーディ神崎和代（編）：在宅看護学講座，ナカニシヤ出版，75-82，2012，11.

(2) 論文

- 1) 工藤禎子，佐伯和子：引越した高齢者における新たな近隣関係の構築に関する意識と行動，日本老年看護学会誌，17（1），37-45，2012.
- 2) 工藤禎子：引越後の高齢者における年齢別にみた情報とサービスに関する要望，厚生指針，60（3），23-29，2012.
- 3) 工藤禎子：都市部に引越した独居高齢者の危機管理，北海道医療大学看護福祉学部学会誌，9（1），43-53，2013.
- 4) 明野聖子：妊娠期から乳幼児期における父親の親としての発達に関する文献レビュー，北海道医療大学看護福祉学部学会誌，9（1），65-71，2013.

(3) その他の論文

- 1) 工藤禎子：独居高齢者の「危機管理」に関する概念と近年の文献の動向，北海道医療大学看護福祉学部紀要，19，51-57，2012.
- 2) 桑原ゆみ：特定健診受診者のニーズと特定保健指導効果に関する行動変容理論を基盤とした研究，科学研究費助成事業研究成果報告書，2013.

(4) 学会発表

- 1) 工藤禎子：都市部における独居高齢者の生活上の危機と管理，北海道医療大学看護福祉学部学会，札幌，2012，9.
- 2) 工藤禎子：都市部に転入した独居高齢者の危機管理，日本公衆衛生看護学会，東京，2013，1.
- 3) Yumi Kuwabara, Misako Miyazaki : The characteristics of health checkup participants' knowledge, attitudes, and behaviors to national health checkup, and medical results. International Collaboration for Community Health Nursing Research Conference, Poster Discussion, Edinburgh, Scotland, UK, March 2013.

(地域在宅看護学)

(1) 著書

- 1) 竹生礼子：第Ⅰ部3章在宅看護の定義（共著），第Ⅱ部3章在宅看護活動の場（単著），第Ⅲ部2章他職種連携における課題（単著），第Ⅲ部4章在宅ター

- 4) 桑原ゆみ・宮崎美砂子：市町村国保の特定健康診査不定期受診者への定期受診を促す支援プログラムの試行－特定保健指導初回場面を活用した支援プログラム実施と実施直後の評価－，第16回日本地域看護学会学術集会，徳島，2013，8.
- 5) Reiko Takeu, Azusa Shikanai, Kiyomi Ishikawa, Tazuko Yamamoto : Evaluation of Promotional Program in Palliative Care for small communities in Japan : International Collaboration for Community Health Nursing Research Conference, Poster Display, Edinburgh, Scotland, UK, March 2013.
- 6) 木村公美, 川村三希子, 西村歌織, 竹生礼子, 井出訓：認知症とがんを併せ持つ高齢者への看護に関する調査（第1報）－緩和ケア病棟，一般病棟管理者が感じていること，第36回日本死の臨床研究会，京都，2012，9.
- 7) 竹生礼子, 井出訓, 西村歌織, 木村公美, 川村三希子：認知症とがんを併せ持つ高齢者への看護に関する調査（第2報）－介護老人福祉施設の管理者が感じていること，第36回日本死の臨床研究会，京都，2012，9.
- 8) 照井レナ, 鹿内あずさ, 竹生礼子, 川添恵理子：訪問看護師の医行為における拡大希望裁量－在宅点滴・注射薬剤投与－，日本看護科学学会学術集会，東京，2012，11.
- 9) 桑原ゆみ：当別町とうべつ健康プラン21検討委員会委員
- 10) 桑原ゆみ：当別町国保運営協議会 会長
- 11) 桑原ゆみ：日本糖尿病教育・看護学会 査読委員
- 12) 桑原ゆみ：第18回日本糖尿病教育・看護学会 一般演題査読委員
- 13) 桑原ゆみ：放送大学講師，2013，6.
- 14) 竹生礼子：天使大学非常勤講師，在宅看護学Ⅰ，2013，6－2014，3.
- 15) 竹生礼子：当別町地域包括支援センター運営協議会委員長
- 16) 竹生礼子：北海道社会福祉施設整備選定に関する有識者会議 委員
- 17) 竹生礼子：北海道医療大学看護福祉学部学会 理事
- 18) 竹生礼子：札幌市西区老老介護を学ぶ会「きずな」健康講話講師，2013，2.
- 19) 竹生礼子：在宅ホスピスボランティア市民講座 企画・運営・事務局，2013，9.
- 20) 竹生礼子：在宅ホスピスボランティアを広める会 in 札幌 世話人
- 21) 竹生礼子：高齢者サロン「ななかまど」健康講話講師，「訪問看護ってなに？」札幌，2013，6.
- 22) 川添恵理子：滝川市立病院看護部看護研究研修会講師，2013，6.
- (5) 講演
- 1) 竹生礼子：平成25年度当別町防災セミナー第1部「東日本大震災に学ぶ危機管理のあり方（町職員対象）」，第Ⅱ部「自助・共助による災害時要援護者対応（町民対象）」，当別，2013，9.
- (6) 社会活動
- 1) 工藤禎子：日本看護科学学会 査読委員
- 2) 工藤禎子：日本在宅ケア学会 評議員・査読委員
- 3) 工藤禎子：日本老年看護学会 評議員・査読委員
- 4) 工藤禎子：日本地域看護学会 編集委員
- 5) 工藤禎子：日本公衆衛生看護学会 査読委員
- 6) 工藤禎子：日本老年社会学会 査読委員
- 7) 工藤禎子：北海道公衆衛生学会 査読委員
- 8) 桑原ゆみ：北海道看護協会 学会委員
- 9) 桑原ゆみ：札幌圏健康づくり事業活動計画検討委員会 委員
- 10) 桑原ゆみ：江差保健所管内研修会 助言者
- 11) 桑原ゆみ：札幌市国保特別保健指導推進委員会 委員
- 12) 桑原ゆみ：滝川市立病院看護部看護研究研修会講師，2013，8.
- (精神看護学)
- (2) 論文
- 1) 八木こずえ：自己との折り合いが困難な新型うつ病患者へのケアの視点，精神医療，68，62－69，2012.
- 2) 笹木弘美：統合失調症を体験する人の思い描く生活とその広がりについて，北海道医療大学看護福祉学部学会誌，9（1），55－63，2013.
- (4) 学会発表
- 1) 鈴木大輔, 三好 忍, 吉野賀寿美, 八木こずえ, 中島公博：精神科急性期病棟における集団心理教育が患者にもたらす影響，第1回日本精神科医学会学術集会，大阪，2012，10.
- 2) 吉村美香, 松田慎子, 井出瑞門, 山田寿美代, 鈴木ゆかり, 八木こずえ, 中島公博：統合失調症患者家族への魅力ある家族会の工夫～多職種連携を軸にして～，第1回日本精神科医学会学術集会，大阪，2012，10.
- 3) 小野智矢, 浮田志保, 佐藤ひとみ, 八木こずえ：死に強い拘りを持つ思春期患者の看護，第33回札幌市

病院学会, 札幌, 2103, 2.

(5) 講演

- 1) 八木こずえ: 看護職のためのメンタルヘルス～心の元気を保つためのストレスマネジメント, 市立札幌病院看護部研修, 札幌, 2013, 2.
- 2) 八木こずえ: 心の免疫力を高める方法～心の病の予防と回復の考え方～, 市立小樽病院院内研修, 小樽, 2013, 7.
- 3) 八木こずえ: 精神症状のある在宅療養者の看護～病院の視点から～, 北海道看護協会訪問看護師養成講習会, 札幌, 2013, 9.

母子看護学講座

教授: 三国 久美

准教授: 伊藤 道子

講師: 遠藤紀美恵, 木浪智佳子

助教: 澤田 優美, 川崎ゆかり

(1) 著書

- 1) 三国久美: 第Ⅱ章 1. 健康増進に向けた政策, 2. 健康増進のための社会制度-社会資源の活用, 二宮啓子, 今野美紀編, 小児看護学概論 改訂第2版, 南江堂, 56-70, 2012, 12.
- 2) 三国久美: I部1章子どもと家族・社会, 濱田裕子, 幸松美智子編, ジーサブリ改訂2版 場面で学ぶ小児看護学, メディカ出版, 10-24, 2012, 10.

(2) 論文

- 1) 三国久美, 齋藤早香枝: 保育所入所児と働く母親の母子相互作用, 日本乳幼児医学・心理学研究, 21(2), 77-85, 2012.
- 2) 川合美奈: NICUにおける父親に対する育児指導の実施状況とその関連要因, 北海道医療大学看護福祉学研究科修士論文, 2013.
- 3) 川合美奈: NICUスタッフによる父母への育児指導の認識と実施の相違, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 9, 81-85, 2013.
- 4) Hiroki Ohmi, Chieko Kato, Martin Medows, Kazuyuki Terayama, Fumiaki Suzuki, Michiko Ito, Yoshikatsu Mochizuki and Akira Hata: Early infantile growth and cardiovascular risks in adolescent Japanese women. *Journal of Rural Medicine*, 8(1), 176-180, 2013.
- 5) 寅嶋静香, 遠藤紀美恵, 澤田優美: 542名の産後における体調の実態調査報告および産後運動ケアの提

案, 北海道母性衛生学会, 42(1). 30-33, 2013.

(3) その他の論文

- 1) 三国久美, 川合美奈: NICUスタッフによる父親への育児指導の実態, 北海道医療大学看護福祉学部紀要, 19, 25-31, 2012.
- 2) 川崎ゆかり, 木浪智佳子, 三国久美: スタッフナースにおけるリーダーシップの研究動向, 北海道医療大学看護福祉学部紀要, 19, 33-41, 2012.
- 3) 木浪智佳子, 川崎ゆかり, 三国久美: 我が国の重症心身障害児看護に関する研究の動向, 北海道医療大学看護福祉学部紀要, 19, 43-50, 2012.

(4) 学会発表

- 1) Yumi SAWADA, Kumi MIKUNI, Chikako KINAMI, Yukari KAWASAKI, Sakae SAITO, Taiko HIROSE, Miho KUSANAGI: Work Life Balance of Working Mothers of Japan, The 5th international conference on community health nursing research, Edinburgh UK, March 2013.
- 2) 三国久美, 齋藤早香枝, 工藤悦子, 川崎ゆかり, 木浪智佳子, 澤田優美, 川合美奈, 草薙美穂, 廣瀬たい子: 働く母親と保育園児の母子相互作用に関連する要因, 第7回乳幼児保健学会, 2013, 9.
- 3) 川合美奈, 三国久美, 木浪智佳子, 川崎ゆかり: 育児に関するネガティブな感情を抱く父親への関わり-NICUに勤務する看護職を対象として-, 乳幼児保健学会第7回学術集会, 2013, 9.
- 4) 奥井一恵, 茅野さゆり, 遠藤紀美恵: 外来におけるCOPD患者の体重管理~HOT患者への在宅療養指導からの考察~, 第51回全国自治体病院学会, 高松, 2012, 11.
- 5) 立野良美, 石橋美奈, 南部沙緒, 植木 瞳, 佐瀬美恵子, 多田和代, 遠藤紀美恵: 当院における夫立ち合い分娩時の看護師のかかわりについての一考察-産前教室の受講の有無に焦点をあてて-, 江別市立病院看護研究発表会, 2013, 6.

(5) 講演

- 1) 澤田優美: 産後の子育て支援「赤ちゃんとのコミュニケーション」北海道医療大学生涯学習事業 北海道医療大学セミナーⅢ, 札幌, 2013, 6.

(6) 社会活動

- 1) 三国久美: 乳幼児保健学会 理事
- 2) 三国久美: 北海道公衆衛生学会 評議員
- 3) 三国久美: 平成24・25年度江別市立病院「看護研究

実践コース研修」講師

- 4) 三国久美：平成24・25年度北海道社会保険病院「看護係長研修」講師
- 5) 伊藤道子：北海道公衆衛生学会 評議員
- 6) 伊藤道子：北海道母性衛生学会 幹事総務
- 7) 遠藤紀美恵：平成24・25年度江別市立病院「看護研究実践コース研修」講師
- 8) 遠藤紀美恵：北海道医療大学生涯学習事業「産後の子育て支援」企画・運営および保健相談員，札幌，2012，10.
- 9) 遠藤紀美恵：北海道医療大学生涯学習事業「産後の子育て支援」企画・運営および保健相談員，札幌，2013，6.
- 10) 遠藤紀美恵：北海道札幌東雲高校出前講義 講師，2013，9.
- 11) 澤田優美：北海道医療大学生涯学習事業「産後の子育て支援」企画・運営および保健相談員，札幌，2012，10.
- 12) 澤田優美：北海道医療大学生涯学習事業「産後の子育て支援」企画・運営および保健相談員，札幌，2013，6.

成人看護学講座

教授：野川 道子

准教授：佐々木栄子，館山 光子

講師：唐津 ふさ，西村 歌織

助教：二本柳玲子，高木 由希，大場 由子

(2) 論文

- 1) 西村歌織，川村三希子，竹生礼子，木村公美：早期食道がん患者が食道全摘術・胸壁後再建術後に受ける生活への影響と対処，日本がん看護学会誌，27（2），65-73，2013，9.
- 2) 二本柳玲子：血液透析を続けながら生活する女性の思い，北海道医療大学看護福祉学部学会誌，9（1），17-25，2013.
- 3) 二本柳玲子：育児中に血液透析に至った女性の体験の一考察－関連性評定質的分析（KH法）を用いて，北海道医療大学看護福祉学部紀要，19，81-87，2012.

(3) その他の論文

- 1) 野川道子：特集 第6回日本慢性看護学会学術集会記録2「慢性看護における看護職の役割拡大」（シンポジウムⅡより）序文，日本慢性看護学会誌，7

(1)，29，2013.

(4) 学会発表

- 1) 渡辺美和，野川道子：オストメイトが認知する病気の不確かさの特徴，日本慢性看護学会第6回学術集会，神戸，日本慢性看護学会誌，7（1），A89，2013，6.
- 2) 高木由希，田村真美，野川道子：血液透析患者の不確かさの特徴－透析治療に対する知識の主観的熟知度に着目して，日本慢性看護学会第6回学術集会，神戸，日本慢性看護学会誌，7（1），A90，2013，6.
- 3) 伊藤千春，長谷佳子，野川道子：2型糖尿病患者の健康行動に対する自己効力感の特徴，日本慢性看護学会第6回学術集会，神戸，日本慢性看護学会誌，7（1），A53，2013，6.
- 4) 長谷佳子，野川道子：病みの軌跡モデルの活用状況－文献検討－，北海道医療大学看護福祉学部学会第10回学術大会，札幌，2013，9.
- 5) 平 典子，唐津ふさ，田中いずみ，鳴井ひろみ：外来治療を受けるがん患者の家族が活用するケアギバーとしての手段，日本がん看護学会学術集会，金沢，2013，2.
- 6) Noriko Hira, Fusa Karatsu, Izumi Tanaka, Hiromi Narui : Family Support for Outpatients Undergoing Cancer Treatment, MASCC, Berlin, 2013, 6.
- 7) 田中いずみ，平 典子，唐津ふさ，鳴井ひろみ：外来治療を受けるがん患者と暮らす家族ケアギバーの思い，日本看護研究学会学術集会，秋田，2013，8.
- 8) 唐津ふさ，杉田久子，西村歌織，黒川藤美：ドレーン・チューブ固定のための看護アルゴリズムの開発－看護師のアセスメントの視点に焦点をあてて－，日本看護研究学会学術集会，秋田，2013，8.
- 9) 杉田久子，唐津ふさ，西村歌織：臨床看護実践における新人看護師が語る知の様相，日本看護研究学会学術集会，秋田，2013，8.
- 10) 竹生礼子，井出 訓，西村歌織，木村公美，川村三希子：認知症とがんを併せもつ高齢者への看護に関する調査（第2報）介護老人福祉施設の管理者が感じていること，第36回日本死の臨床研究会年次大会，2012，11.
- 11) 高木由希，本吉美也子：日本語版McGillQOL尺度で捉えた血液透析患者のQOLの特徴，第7回日本慢性看護学会学術集会，2013，6.

(5) 講演

- 1) 野川道子：公開シンポジウム「大学院教育から考え

る高度実践看護師教育のあり方意見交換会」公開シンポジウム, 我が国におけるAPNを目指した教育実践実践例, 日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会主催, 2013, 3.

- 2) 佐々木栄子: 第18回日本難病看護学会学術集会 公開シンポジウムⅡ「難病における痛みsufferingへの対処と支援のあり方」シンポジスト, 「パーキンソン病患者の自己概念の様相から見たsufferingと支援のあり方」, 2013, 8.

(6) 社会的活動

- 1) 野川道子: 日本慢性看護学会 副理事長
- 2) 野川道子: 日本難病看護学会 理事
- 3) 野川道子: 日本看護研究学会 評議員
- 4) 野川道子: 日本がん看護学会 評議員
- 5) 野川道子: 日本NP協議会 理事
- 6) 野川道子: 日本看護科学学会 代議員 和文誌専任査読員
- 7) 野川道子: 日本看護系大学協議会 専門看護師教育課程専門分科会副委員長 (慢性看護)
- 8) 佐々木栄子: イムス札幌内科リハビリテーション病院「看護研究」指導, 講師.
- 9) 佐々木栄子: 北祐会神経内科病院「看護研究」指導.
- 10) 西村歌織: NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会 がん患者・家族のための情報提供支援「ちえのわ」企画・運営.
- 11) 二本柳玲子: 医療法人 萬田記念病院 看護研究指導・講義, 2013, 6.

臨床看護学講座

教授: 塚本 容子
講師: 高橋 久江, 長谷 佳子
助教: 北村美奈子, 兼平 奈美

(1) 著書

- 1) 長谷佳子: 第Ⅱ部第7章 在宅看護における倫理, 第Ⅳ部第1章 リハビリテーションを必要とする在宅療養者, 第2章 慢性疾患をもつ在宅療養者, 第Ⅴ部第6章 在宅における呼吸ケア, 第7章 在宅における薬物療法, スーディ神崎和代編: 在宅看護学講座, ナカニシヤ出版, 101-112, 135-145, 243-249, 251-265, 2012, 11.

(2) 論文

- 1) 兼平奈美: 認知症を伴うがん患者に対して看護師が

行う疼痛マネジメントの判断とその根拠, 北海道医療大学大学院 2012年度修士論文.

(3) その他の論文

- 1) 塚本容子: 【看護師特定能力認証制度モデル事業リポート】看護師特定能力養成調査試行事業養成課程教員から 北海道医療大学大学院看護福祉学研究科での取り組み, 看護, 64 (13), 48-51, 2012.
- 2) 塚本容子: 日本NP協議会による教育標準化に向けたカリキュラム紹介, 看護, 64 (15), 062-063, 2012.
- 3) 塚本容子: 身体症状のアセスメント&看護対応 患者急変時の基礎知識, 達人ナース: 経験知の伝授誌, 34 (2), 2-5, 2013.
- 4) 塚本容子: 身体症状のアセスメント&看護対応 腹痛, 達人ナース: 経験知の伝授誌, 34 (2), 23-31, 2013.
- 5) 塚本容子: 身体症状のアセスメント&看護対応 倦怠感, 達人ナース: 経験知の伝授誌, 34 (2), 32-36, 2013.
- 6) 塚本容子: 身体症状のアセスメント&看護対応 発熱, 達人ナース: 経験知の伝授誌, 34 (2), 37-41, 2013.
- 7) 塚本容子: 身体症状のアセスメント&看護対応 情報共有のポイントと臨床で役立つ知恵, 達人ナース: 経験知の伝授誌, 34 (2), 42-44, 2013.
- 8) 塚本容子: Wの悲劇 私たちは歴史から何を学ぶことができるのか 感染予防・管理におけるリーダーシップと患者の人権, 日本環境感染学会誌, 28 (Suppl.), 127, 2013.
- 9) 塚本容子: 慢性看護における看護職の役割の拡大プライマリ・ケアにおける高度実践看護師の役割開発, 日本慢性看護学会誌, 7 (1), 24-28, 2013.
- 10) 塚本容子: 手指衛生アドヒアランス向上のための皮膚保護剤を用いた介入プログラムの実施と評価, 科学研究費助成事業実施状況報告書, 挑戦的萌芽研究 (平成23年度).
- 11) 長谷佳子: 慢性病看護の新しい技術 睡眠時無呼吸症候群患者のあいまいな症状と人生の出来事をつなぐ外来看護, 看護実践の科学, 38 (1), 45-49, 2013.
- 12) 長谷佳子: 看護実践における事例研究 事例研究の実際3 C型肝炎患者の不確実性の受け止めの変化プロセスと支援の検討, 看護研究, 46 (2), 169-177, 2013.
- 13) 長谷佳子: 慢性看護実践のエビデンス第1回 慢性呼吸不全患者の看護に関するエビデンス, 日本慢性

- 看護学会誌, 7 (1), 30-33, 2013.
- 14) 兼平奈美, 川村三希子, 内ヶ島伸也, 木村公美: 認知症を伴う進行がん患者の苦痛のマネジメントに関する研究, 2012年度笹川記念保健協力財団ホスピス緩和ケアにおけるQOLの向上に関する研究助成報告書, 2012年度笹川記念保健協力財団.
- (4) 学会発表
- 1) 塚本容子: 我が国におけるAIDS患者の緩和ケア病棟受け入れの実際と課題, 第1回日本NP協議会研究会, 2012, 11.
 - 2) 塚本容子: ウェストナイル熱感染における重症神経症状とその考察, 第1回日本NP協議会研究会, 2012, 11.
 - 3) Yoko Tsukamoto: Decontamination of Intravascular Needleless Connector Valves: The Effect on Scrub Duration by Photographic Evaluation, 2013 APIC Annual Conference, 2013, 6.
 - 4) 本城綾子, 竹川幸恵, 藤原由子, 伊藤 史, 長谷佳子, 土居洋子: CNSによるケアプロトコルの作成 - 適切な酸素流量調整ができない在宅酸素療法患者への対応 -, 第7回日本慢性看護学会学術集会, 神戸, 2013, 6.
 - 5) 長谷佳子, 本城綾子, 竹川幸恵, 藤原由子, 伊藤 史, 土居洋子: CNSによるケアプロトコルの作成 - 慢性呼吸不全患者の動脈血液ガス分析の評価 -, 第7回日本慢性看護学会学術集会, 神戸, 2013, 6.
 - 6) 伊藤千春, 長谷佳子, 野川道子: 2型糖尿病患者の健康行動に対する自己効力感の特徴, 第7回日本慢性看護学会学術集会, 神戸, 2013, 6.
 - 7) 野川道子, 松下由美子, 長谷佳子, 藪下八重: 専門看護師教育課程の現状とニーズに関する調査, 第7回日本慢性看護学会学術集会, 神戸, 2013, 6.
 - 8) 筆村 望, 長谷佳子, 横田広子: 1型糖尿病患者へのSMBGグラフを活用した看護の一事例, 第18回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 横浜, 2013, 9.
 - 9) 長谷佳子, 野川道子: 病みの軌跡モデルの活用状況 - 文献検討 -, 北海道医療大学看護福祉学部学会第10回学術大会, 札幌, 2013, 9.
 - 10) 東谷敬介, 長谷川智子, 長谷佳子: 精神科救急身体合併症病棟における精神看護専門看護師の調整機能の検討 - せん妄状態にあるがん終末期患者の看取りの事例から -, 北海道医療大学看護福祉学部学会第10回学術大会, 札幌, 2013, 9.
 - 11) 兼平奈美: 認知症を伴うがん患者に対して看護師が行う疼痛マネジメントの判断とその根拠, 第18回日本緩和医療学会, 横浜, 2013, 6.
- (5) 講演
- 1) 塚本容子: 我が国におけるナースプラクティショナー教育, 江別市立病院, 教育講演, 2012, 11.
 - 2) 塚本容子: NPが知っておきたい感染症の知識: 災害時に焦点を当てて, ランチョンセミナー, 第1回日本NP協議会研究会, 東京, 2012, 11.
 - 3) 塚本容子: 平成24年度「大学における教育に関する事業」セミナー コメンテーター, 日本市立看護系大学協議会, 東京, 2013, 12.
 - 4) 塚本容子: 私たちは歴史から何を学ぶことができるのか - 感染予防・管理におけるリーダーシップと患者の人権, 教育講演, 日本環境感染学会, 横浜, 2013, 3.
 - 5) 塚本容子: 適切な抗菌薬の使い方, 公開講座, NP実践セミナー, 札幌, 2013, 3.
 - 6) Yoko Tsukamoto, Symposia, Nursing Session -Advancing NP, PA practice in Asia & Pacific Area, The Asian Society for Cardiovascular and thoracic Surgery, 2013, 4.
 - 7) 塚本容子: 尿路感染症のアセスメントと適切な抗菌薬使用について, 第7回旭川感染管理ネットワーク, 2013, 4.
 - 8) 塚本容子: 慢性看護における高度実践看護師教育プログラム 高度実践看護師教育を支える教育モデル (A Model of Knowledge Integration) と教育の実際, 教育講演, 第7回日本慢性看護学会学術集会, 神戸, 2013, 6.
 - 9) 塚本容子: 輸液療法における感染予防, 第8回北海道感染対策セミナー, 札幌, 2013, 7.
 - 10) 塚本容子: ベッドサイドからカテーテル関連血流感染を考える, 3 M Infection Preventionセミナー, 東京, 2013, 9.
 - 11) 長谷佳子: 北海道看護協会主催「呼吸不全患者の看護一学んで, 実践現場でいかせる呼吸ケア一研修会」講師, 札幌, 2012, 11.
 - 12) 長谷佳子: 千歳市教育委員会主催「一病息災で健やかに暮らそう」生涯学習講座講師, 千歳, 2013, 9.
- (6) 社会活動
- 1) Yoko Tsukamoto: International Council of Nursing, HIV-AIDS Network Advisory.
 - 2) Yoko Tsukamoto: UNAIDS, Asia Pacific Region Consultant.
 - 3) Yoko Tsukamoto: The Nurse Practitioner Journal, International Editorial Advisory Board.
 - 4) 塚本容子: 日本NP協議会 ワーキンググループメンバー

- 5) 塚本容子：日本環境感染学会国際委員会 副委員長
- 6) 長谷佳子：福井大学大学院医学系研究科附属看護キャリアアップセンター 認定看護師教育課程 慢性呼吸器疾患看護 非常勤講師
- 7) 長谷佳子：日本慢性看護学会 評議員
- 8) 長谷佳子：日本慢性看護学会 特別委員会ワーキンググループ委員
- 9) 長谷佳子：日本慢性看護学会 慢性看護あり方検討会ワーキンググループ委員
- 10) 長谷佳子：日本慢性看護学会 編集委員
- 11) 長谷佳子：慢性疾患看護専門看護師研究会 会長
- 12) 長谷佳子：北海道医療大学病院看護部学習会講師
- 13) 長谷佳子：北海道大学病院内科Ⅱ・血液内科病棟学習会「病みの軌跡モデルを理解する」講師
- 14) 北村美奈子：倶知安厚生病院看護部平成24年度 看護研究指導
- 15) 北村美奈子：函館中央病院看護部平成25年度看護研究指導
- 16) 北村美奈子：日本移植・再生医療看護学会 評議員